

# 擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和5年 12月8日(金) Vol.31

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



【ホームページへ】

## お兄さん・お姉さんといっしょ

11月28日(火)に3Aが、そして12月5日(火)には3Bが、聖徳幼稚園での体験学習を行いました。この日のために、読み聞かせの練習をし、名札も作り、準備をしてきた3年生。園児の目の高さを意識して、楽しく一生懸命取り組みました。



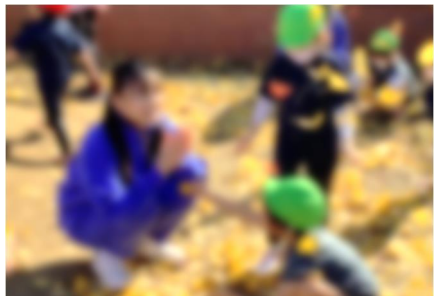
【3Aは「ピーナツたいそう」を、見よう見まねで一緒に踊って活動開始】



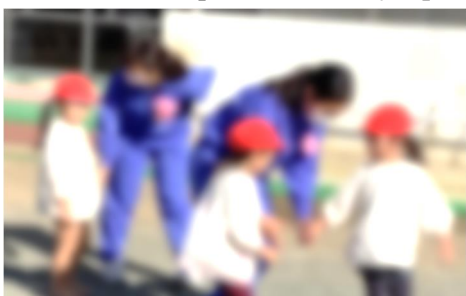
【3歳児と15歳児(?)の背比べ。「すごい! おっきーい!」と園児たちは大喜び】



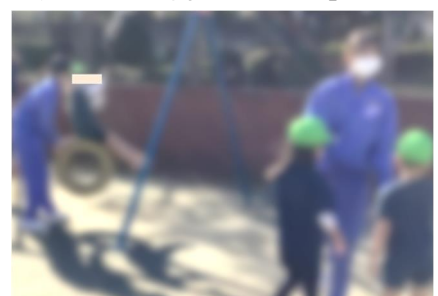
【終始笑顔で、語りかけるように読み聞かせ。園児はよく聞いていました】



【降り積もった落ち葉を次々に拾っては、中学生にプレゼント】



【「何して遊ぼうか?」目の高さを合わせて、優しく話しかけています】



【全力で遊ぶ園児に、中学生も全力で、とことん寄り添っていました】

両クラスとも、開会行事の中で、合唱曲を披露しました。すっかり大人の声になった中学生の合唱を、涙を浮かべて聴く先生もいらっしゃいました。園児も、その声量に圧倒されていたようでした。また、3Bの歌は、手拍子を入れた特別バージョンだったので、園児も、手拍子で参加しながら聴いていました。

聖徳幼稚園からは、「言葉遣い」や「遊び方・接し方」について、「園児のお手本になるつもりで臨んでください」という旨のお願いがありました。中学生も、意識して行動できたようです。楽しく遊ぶだけでなく、子どもの安全を守り、子どもの存在を大切に、子どもの力を伸ばしたい…そのような願いを込めて、様々な教育活動を行っているということも、理解できたことでしょう。

また、自分の幼少期を思い出した人もいるかもしれません。小さな世界で、夢中になって遊んでいた幼い頃の自分は、実はたくさんの大人に見守られていた…そんなことに、気付いた人もいないのでしょうか。



【3Bは「うなりくん音頭」で、うなうなと踊って、とても楽しそう】



【こちらも背比べ。よく食べて、よく寝て、よく遊んで、みんな健やかでありますように】



【音楽に合わせて、ナマケモノのポーズ。自由さなら、園児に負けていません】



【「鬼やりたい人ー？」「はい！」中学生が率先して「山つくる？」「もっと深く掘ろうか」と盛り上がっている砂場】



【お別れの時。ハイタッチで見送られつつ…名残惜しくて、離れがたくて…】



【お別れの時。ハイタッチで見送られつつ…名残惜しくて、離れがたくて…】

参加した生徒は、進路の悩みなどはちょっと脇に置いて、ずっと笑顔で過ごしていました。「お兄さん・お姉さん」と慕われて、一緒に走ったり、手をつないで歩いたりして、すっかり心がほぐれたようです。生徒は、園児から、文字通り「元気をもらった」といった感じで、満足感や多幸福感をたたえた表情で学校に帰ってきました。学んで、和んで、楽しんで。実りの多い時間を過ごさせていただき、聖徳幼稚園の皆様には、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

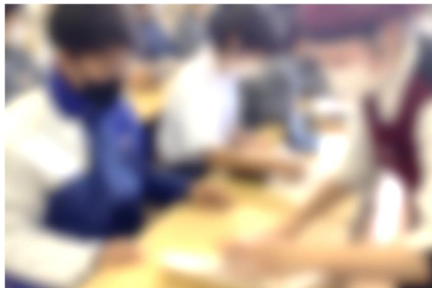
余談ですが、園から学校に帰る際に、「私にも、あんなに小さくて、かわいかった頃があったんだよ」と、ある女子に話しかけたら「へー、そうなんですね」と、実に絶妙なりアクションが返ってきました。

## 現場のプロから学ぶ

1日(金)、1年生が「職業人に聞く会」を行い、5人のプロフェッショナルの方を、講師にお迎えしました。2部構成にして、生徒は5つの講座から2つを受講しました。



【看護師の方を講師に迎えて、「自分の脈をとってみよう」と促されて挑戦。「あれ？あの一、見つかりません！」と焦る生徒もいました】



【和みの米屋さんの講座では、和菓子について学んだあと、実際に使われている羊羹の箱の包装に挑戦。プロの手さばきに見とれつつ、みんなで頑張りました】



【千葉地裁の裁判官の方に、裁判の仕組みや、判決に至るまでの難しさなどを学びました。公正公平に判断するために、とことん調べる、と熱く語ってくださいました】

どんな職業も、楽しいことばかりではありません。裁判官の方が「テレビドラマとは、だいぶ違うんですよ」と話していました。現場の人にしか見えない、人には言えないような辛さや苦しさ、職業の数だけ、働く人の数だけあることでしょう。

それでも、誰かが喜んでくれたり、楽になったり、できるようになったりすることを目指して、「働きたい」をもって、今この瞬間も、それぞれの仕事に向き合っているプロフェッショナルがいるのです。

1年生は、職業人の方々の言葉や熱意に触れて、働くことの大切さを学ぶことができたようです。当日の運営、講師のご案内など、取組や姿勢も、たいへん立派でした。

将来、どんな職業に就くかは分かりませんが、この日の経験が生かされることを期待しています。



【保育士の方が伝えてくださったのは、社会人として、そして、子どものお手本としての、言葉遣いや生活習慣などの大切さ。私も襟を正す思いで拝聴】



【成田空港の方からは、クイズ形式で「一日およそ3万人が働いている」などと教わりました。一つの自治体のような規模の施設が市内にあることに驚きです】

## 街をきれいに！

3日(日)、20名以上の生徒が、早朝から集まり、クリーン作戦に参加しました。白い息を吐いて、仲間と話ししながら、楽しそうに活動しました。街のために「働く」姿勢を、これからも大切にしたいものです。

